

きみの数理的な知性を開発しよう（第3学年 数学）

☆数学の学習で“めざす”こと☆

◎数学を身につけること

「基礎・基本」を習得し、「創造性」を養おう。

基礎的・基本的な知識・方法

式の計算ができる
数量の関係や法則を見つける
図形の性質について知る

多面的にもものを見る力や論理的に考える力(創造性)

なぜそうなるのかな？（不思議・疑問）
問題の重点は何だろう？（解決のキポイント）
他に方法はないのかな？（発見(予想)から証明）

数学好きになるために欲しい3つの気持ち

正確さ

正確にものごとを知りたい

気楽さ

楽にしかも早くしたい

的確さ

わかりやすく伝えたい

◎数学を役立てること

数学の「よさ」や「はたらき」を感じよう

「役立つから学ぶ」から「どのように役立て得るかを問いながら学ぶ」へ

身につけた数学を
活かす

どんな身の回りの
ことを

どのように見たり考えたり
できるか

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 未来へひろがる 数学3（啓林館） 副教材 ワークブック プリント	もちもの	教科書・ワークブック ノート・ファイル
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計算力をつけよう。計算力は数学の基礎、繰り返し計算問題を解けば必ず向上します。 ○法則や公式は使うことで身につけよう。暗記するだけでは身についたとは言えません。 ○間違いを次につなげよう。どこで間違えたのかを自分で見つけることが大切です。 ○文章題・図形・グラフなどの問題では、時間がかかっても習ったことを振り返り考えることをしよう。そういう努力があって初めて「解説」が理解できます。 ○問題が解けたときの喜びを感じよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業終了時に、ワークブックのできる箇所を伝えるので確認と復習をしておきましょう。 ○宿題は、必ずしましょう。日々の積み重ねが大切です。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○日頃からしっかり復習し、テスト前は間違えた問題や応用問題を中心に学習しよう。 		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○授業には遅れないようにしましょう。 ○「話を聞く」、「板書を写す」、「問題を考える」の切り替えをしっかりとしよう。 ○ノートをとるときは、スペースに余裕を持って見やすく書こう。話を聞いていて板書されていなくても大事だと思ったことは、自分で書き加えたり線を引いたり工夫しよう。 ○答えだけを書くのではなく、答えに至るまでの式や計算や考え方を書くようにしましょう。 ○ワークブック・ノート・レポートの提出は、期限を守りましょう。 ○指示された問題が早くできたら、ワークブックや章末問題を進んでやろう。 		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法	
前	4	式の展開と因数分解 ・式の展開と因数分解	中間	数 学 へ の 関 心 意 欲 態 度	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中には、既知の学習内容とは異なる関係・性質・式があることに関心をもつ。 ・既知の学習内容と、新たに学習していることの特徴の違いを興味を持って調べようとする。 ・学習したことを問題(発展的な)解決のために進んで利用しようとする。 ・未到達な部分を克服しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・家庭学習・宿題の確認 ・ワーク点検 ・ノート点検 ・発表
	5	・式の計算の利用				
	6	平方根 ・平方根 ・根号をふくむ式の計算				
期	7	二次方程式 ・二次方程式 ・二次方程式の利用	期末	数 学 的 な 見 考 方 え や 方	<ul style="list-style-type: none"> ・解を求める場面で、解に到達するまでの考え方がわかる。 ・問題解決の場面で、学習内容を用いることができる。 ・既知の学習内容との類似性や相違点に着目することができる。 ・既知の学習内容と比較・関連させて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・プリント ・小テスト ・確認テスト ・定期テスト ・発表での説明の仕方
	9	関数 $y = ax^2$ ・関数とグラフ				
	10	・関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・いろいろな事象と関数				
後	11	図形と相似 ・図形と相似 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の計量	中間	数 学 的 な 技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・解を求める場面で、解を求めることができる。 ・問題解決の場面で、学習内容を用いて問題を解決することができる。 ・表やグラフをかけ、また読みとることができる。 ・証明することができる。 ・学習内容を考察や問題解決に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・プリント ・小テスト ・確認テスト ・定期テスト ・ワーク点検 ・ノート点検
	12	・相似の利用				
	1	円の性質				
期	2	三平方の定理 ・三平方の定理	学年 末	い 数 で 量 の 図 知 形 識 な ・ど 理 に 解 つ	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決する手順を理解している。 ・表やグラフの特徴について説明することができる。 ・用語・記号について説明することができる。 ・図形の性質について説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・小テスト ・確認テスト ・定期テスト
	3	・三平方の定理の利用				
		標本調査 3年間の復習				

